

別府市福祉サービス事業あり方検討委員会

第4回委員会 資料

令和元年 10 月 18 日

別府市 福祉政策課

目次

見直し対象事業 1 : 敬老祝金支給事業	1
見直し対象事業 2 : 高齢者いきいき健康づくり 7 5	2
見直し対象事業 3 : ひとまもり・おでかけ支援事業	2
見直し対象事業 4 : 地区敬老行事支援事業	3
見直し対象事業 5 : 別府市単位老人クラブ補助金	4
見直し対象事業 6 : 高齢者優待入浴券交付事業	5
見直し対象事業 7 : 別府市優待入浴券交付事業	5
見直し対象事業 8 : 重度心身障害者医療費助成事業	6
見直し対象事業 9 : 障害者福祉手当等支給事業	6
見直し対象事業 1 0 : コミュニティーセンター入浴料金割引券交付事業	6
見直し対象事業 1 1 : 水道料金福祉還付制度	7

第3回までの委員会においていただいた意見

見直し対象となった11事業について、委員の皆様からいただいた主な意見の概要は、次のとおりとなります。

見直し対象事業1：敬老祝金支給事業

【主な意見】

- ・この事業の本来の趣旨は、平均寿命を超えた人に対するお祝いだと思うが、今は平均寿命が80歳を超えているのに制度がそのままとなっているため、時代と合わなくなっている。(見直し)
- ・県内の他市町村と比べると、別府市は支給対象年齢が低い。人口が減っていくなか、高齢化率は上昇が見込まれるため、支給対象年齢を見直すべきではないか。(見直し)
- ・この事業を見直した財源で、健康事業などの他の優先度が高い福祉事業に充てることができればよいのではないか。(見直し)
- ・財政が足りなければ借金しなければならないが、私たちの子どもや孫に借金がいかないようにするためにも、この事業を見直す必要があるのではないか。(見直し)
- ・別府市の民生委員の見守り対象年齢が65歳から70歳に引き上げられた。この事業も支給対象年齢が70歳以上となっているので、このままでいいと思う。(継続)
- ・例えば、名称を長寿祝金とし、長寿に対するお祝いに変えてみてはどうか。(その他)

見直し対象事業 2：高齢者いきいき健康づくり 75

【主な意見】

- ・高齢者の健康寿命の延伸を目的としているが、別府市の健康寿命が県内の他市町村に比べて良くないということであれば、目的を達成できていないのではないか。それよりも、地域の高齢者の居場所づくりなどを行うべきではないか。(見直し)
- ・健康の問題は個人の自主的な問題である。このような公的資金を支出することが必要なのかという問題だと思うので、自分でお金を出して欲しい。(見直し)
- ・トレーニング室の使用料に公的な支援が必要なのかという問題から議論する必要があるのではないか。建物や設備を維持管理するための費用として、利用者負担として使用料を徴収することは必要ではないか。(見直し)

見直し対象事業 3：ひとまもり・おでかけ支援事業

【主な意見】

- ・家からバス停までが遠い、一日のバスの本数が少ないなどの問題があるので、地域の中まで入ってこられるコミュニティバスやタクシーの利用ができないのか、検討してほしい。(見直し)
- ・移動手段の確保は非常に重要な問題である。高齢になると自動車の運転に不安を覚え、免許証を返納する人も増えると思うので、事業の拡充が必要ではないか。(見直し)
- ・病院や買い物の生活面、社会参加促進においては、この事業を充実する必要がある。(見直し)
- ・高齢者や障がい者に対する移動支援は増強すべき。ただし、この事業は利用している人が少ないようにあるので、回数券ではなくカードを使えるようにするなどの利用促進に繋がる改善方法を検討していく必要がある。(見直し)
- ・車に乗ることができない障害者は、バスやタクシーを利用しないと外出することが難しい。家からバス停まで遠いなど色々な問題もあるが、この事業は非常に恩恵が大きい。(その他)

見直し対象事業4：地区敬老行事支援事業

【主な意見】

- ・この事業がどうあるべきか、目的と手段を整理する必要があるのではないか。(見直し)
- ・世話する人が少なく、会場が狭ければ場所を借りたりすることもあるので、負担が大きい。ずっと座っていることが難しい、きついという理由などから敬老行事に出席する人も減ってきている。(その他)
- ・町内の最大の行事であるため、喜ばれている。(その他)
- ・単独で行うことができない小さな自治会については、合同で敬老行事を行うなど、やり方を考えなければならないと思う。(その他)
- ・敬老行事のときにしか会わない人もいる。みんなが集まれる機会を作れていないことが理由だと思うので、みんなが集まれる機会を増やすことが大切だと思う。(その他)
- ・敬老行事にターゲットをあてるのか、それとも高齢者同士が地域において顔が見える環境を作っていく事業にするのかは、やり方の問題と思う。(その他)
- ・顔が見える地域の寄り合いを作るためには、市は社会福祉協議会を通じて地区社会福祉協議会や地域包括支援センターなどと連携していくなど、仕組みを変えないといけないのではないか。(その他)

見直し対象事業5：別府市単位老人クラブ補助金

【主な意見】

- ・ 少子高齢化が進む中、地域での関係性も薄くなっているため、老人クラブの再編や複合化などの組織の見直しが必要ではないか。そういった本質的な問題とともに、高齢者が寄り合える場所や行事を作っていくことが健康寿命を伸ばすことにも繋がるので、活用方法を工夫する必要があるのではないか。（見直し）
- ・ 使用目的が社会奉仕活動、教養講座の開催、健康増進活動に限定されているので、どのように活用していくかが問題となる。ある程度年齢が高い人でも、楽しめて、視野が広がるような皆で一緒に作業してもらうことが必要だと思う。（見直し）
- ・ 老人クラブの会員の減少や高齢化は全国的な問題である。会員となってもらえるように魅力ある老人クラブを作らないといけない。（その他）
- ・ 一番大事なのは、老人クラブと自治会の連携だと思う。（その他）

見直し対象事業 6：高齢者優待入浴券交付事業

見直し対象事業 7：別府市優待入浴券交付事業

【主な意見】

- ・この制度を利用して、多くの方が市営温泉を利用している。市営温泉が区営温泉を圧迫するのはおかしい。市営温泉が赤字になっている状況や高齢化が進む中で費用が膨らむ可能性があるため、この事業は見直す必要があるのではないか。（見直し）
- ・温泉の掃除や設備の維持管理に費用がかかるので、入浴料を負担してもらう必要があるのではないか。（見直し）
- ・障がいのある人は、スロープや車椅子での入浴ができるのかといった施設面の問題から一部の人に限られたサービスになっているのではないか。そういう点からみれば、利用者として相当額の負担があってもいいのではないか。（見直し）
- ・市営温泉には、市民全員を対象とした市民入浴券があるので、市民入浴券を利用すべき。（見直し）
- ・市営温泉は、別府の町中に限られているので、近い人しか入れていない。（その他）
- ・市民サービスとして、別府ならではの面から、温泉が週1回とか月に何回か無料で入れるというサービスを提供してもいいのではないか。（その他）
- ・障がいのある人が利用しやすいように、市営温泉に家族風呂を設置してほしい。（その他）
- ・市営温泉は、手すりの設置やバリアフリーとなっているなど、施設も立派だし、安くすれば、行くのは当たり前である。高齢者向けに区営温泉の入浴券を補助するなど、区営温泉の事も理解してほしい。（その他）
- ・市営温泉は観光客向けの施設と考え、市民には区営温泉を利用してもらうように補助するなど、思い切ったことをやらないといけないのではないか。（その他）
- ・市営温泉の収支や区営温泉とのバランスを考えると、市営温泉の入浴料の見直しが必要ではないか。（その他）

見直し対象事業 8：重度心身障害者医療費助成事業

【主な意見】

- ・生活に困窮している人に対して支援することが制度の趣旨だと思う。この事業を維持していくためには所得制限を設け、一定以上の所得がある人には自己負担をしていただく必要があるのではないか。(見直し)
- ・この事業の対象者数の見込みは、予防医療の発達で減少するとの考え方と医療技術の発達による延命化に伴い増加するとの考え方があるため、この事業を見直す場合は、慎重な検討が必要ではないか。(その他)

見直し対象事業 9：障害者福祉手当等支給事業

【主な意見】

- ・タクシー手当として 500 円のタクシー券が 1 枚配られているが、社会参加の促進になっているとは思えないので、タクシー手当はなくしてよいのではないか。(見直し)
- ・リフト付きタクシー券の助成については、リフト付きタクシーの台数が少なく予約が取れない。ユニバーサルデザインタクシーも対象にすることや対象のタクシー会社を利用者の障がいを理解している馴染みのタクシー会社や個人タクシーも対象に入れるなどの検討が必要ではないか。(見直し)
- ・福祉手当は利用者本人の所得、支給条件があるので、特に問題ないと思うが、タクシー手当が福祉手当と一緒に支給されているので、わかりづらい。県内の他市町村のようにタクシー手当と福祉手当を分け、タクシー手当はタクシー券に変えた方がいいのではないかと思う。そのほうが、社会参加の促進や生活に役立つことになり、効果があるのではないか。(見直し)
- ・リフト付きタクシー券の助成については、県内の他市町村を参考にしながら制度を見直したほうがよいのではないか。(その他)

見直し対象事業 10：コミュニティーセンター入浴料金割引券交付事業

【主な意見】

- ・コミュニティーセンターの趣旨とこの事業の趣旨を比較検討したうえで見直す必要があるのではないか。(見直し)

見直し対象事業 1 1 : 水道料金福祉還付制度

【主な意見】

- ・配管が古くなっているという話をよく聞く。古い配管の整備などの水道施設の維持・管理は大事なことなので、必要な費用を確保するためにも見直しが必要ではないか。(見直し)
- ・水道施設の維持・更新のための費用のため、収入を増やしていくかコストを下げる必要がある。収入は人口減少の関係で、支出は水道施設の維持・更新のために必要な費用の関係で見直しが出ると思う。そういった全体の見通しから、この制度の見直しが必要ではないか。(見直し)
- ・制度を知っている人は良いが、知らない人にとっては不公平であり、そういった面で見直しを考へても良いのではないか。(見直し)
- ・基本料金の半額を還付することが福祉サービスなのかということをもう一度検討する必要があるのではないか。(見直し)